



白 梅 通 信

1月号 H28.1.27 発行

宮城県古川黎明高等学校 〒 989-6175 宮城県大崎市古川諏訪一丁目 4 番 26 号
TEL 0229-22-3148 FAX 0229-22-1024 <http://www.freimei-h.myswan.ne.jp>

宮城県古川黎明高等学校校長 庄子 英利

余寒の候、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、過日実施しました「平成27年度学校評価アンケート」では、ご多用にもかかわらずご協力いただきましたこと誠にありがとうございました。保護者の皆様からは、中学校で回収率85.6%、高校で回収率82.6%のご回答をいただきました。

つきましては、生徒・保護者アンケートの結果と分析について以下のようにまとめましたのでお知らせします。昨年度と比べ多数の項目で、評価が高くなっておりますが、評価の下がった項目もあります。また、アンケート調査の結果と分析について「学校評議員」の皆様からご助言をいただき、次年度の改善に役立て、今後の教育活動に生かしていくように努力して参りますので、今後とも御理解・御支援のほどよろしく願います。

1 回収率

- (1) 中学生 92.7% 保護者 85.6%
- (2) 高校生 1年生 78.2% 2年生 97.0% 3年生 82.6% 保護者 82.6%

2 評価結果及び分析について

※表の数字は、「よく当てはまる」と「だいたい当てはまる」と回答した割合(%)
 ※表の「中生」は中学生,「中保」は中学校保護者,「高保」は高校保護者

○ 県立学校共通質問事項

【学習指導(学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている)】

中生	87.9	高2	77.3	中保	90.5
高1	75.8	高3	80.0	高保	83.8

(分析) 中学校においてはかなり、高校においても概ね高い評価を得ている。保護者の好評価と比べると生徒の評価はやや低めである。更に生徒の授業理解を促進できるような授業力向上を目指し授業研究に取り組んでいきたい。

【生徒指導(挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている)】

中生	92.1	高2	82.8	中保	96.3
高1	87.7	高3	84.6	高保	90.3

(分析) 中学生及び中高保護者は高い評価となっているが、それと比較して高校生の評価がもう一息という感じがする。本校の特色であり、伝統である「おはようございます」の挨拶を今後も継承して欲しい。挨拶の際に、笑顔で対応できることが更に望ましい。一部の活動を中心に、自主的な「朝のあいさつ運動」やしつ

かりと立ち止まり、元気に挨拶できる生徒も存在している。良い影響を広げて欲しい。

【進路指導(進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている)】

中生	80.5	高2	77.5	中保	77.0
高1	81.0	高3	87.4	高保	80.2

(分析) 全体としてほぼ8割の生徒・保護者から良い評価を得られている。国の進める高大接続改革や新テスト導入も視野に入れつつ、今後もさらなる進路指導の充実に努めていきたい。

【教育相談(教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている)】

中生	82.3	高2	70.4	中保	87.3
高1	74.9	高3	80.0	高保	78.3

(分析) 高校2年生の評価がやや低めではあるが全体として約8割という高い評価を得た。本年度は中学高校ともに昨年度より評価のポイントも上昇している。本年度よりスクールソーシャルワーカーも配属され、きめ細かく生徒保護者に対応できたと思われる。

【部活動（学校として、部活動は活発に行われている）】

中生	95.2	高2	95.2	中保	94.4
高1	92.8	高3	98.2	高保	97.4

（分析）概ね高評価を得た。文武両道が本校の目標である。より高い次元で実現できるよう努力して欲しい。東北・全国大会に出場し、活躍している部も多く存在する。部活動から学ぶことも多い。切磋琢磨して学校を活性化したい。

【生徒会活動（学校として、生徒会活動は活発に行われている）】

中生	91.0	高2	83.2	中保	94.3
高1	79.9	高3	85.1	高保	88.2

（分析）中学生に比べ、高校生がやや低い評価となった。生徒会活動は、生徒会執行部だけでなく、様々な委員会活動も含まれている。与えられた仕事に取り組むだけでなく、自ら考え、どのように活動するべきか、他者にどう働きかけるべきかを、もっと積極的に意識し、参加できる生徒を育成しなければならない。

【学校行事（有意義な学校行事がある）】

中生	95.2	高2	84.6	中保	97.8
高1	84.3	高3	88.0	高保	93.1

（分析）各学年・保護者ともに高い数値である。高校生は学年進行とともに上昇傾向があり、愛校心の高まりとともに高い数値になっていく。中学生は全体を通じて生徒・保護者ともに学校行事に積極的に参加しようとの意識が高い。学校生活そのものへの高い関心がうかがえる。

【特色ある学校づくり（地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる）】

中生	81.5	高2	55.6	中保	76.1
高1	62.0	高3	60.0	高保	72.3

（分析）中学校の数値が高く昨年から大きく数値を伸ばしている。高校については受験について興味関心が高く、SSH 学校行事等の特色が学校独自のものという認識が不足しての評価と思われる。

【防災教育（災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている）】

中生	89.2	高2	81.1	中保	84.3
高1	81.0	高3	91.4	高保	90.3

（分析）概ね8割を超えて高い評価をいただいている。今年度は備蓄食料を全校生徒分確保し、備蓄場所の確保・帰宅困難者用の食料も文化祭の収益を当て拡充する方向で周知している。震災時の対応カード等の効果と考えている。

【開かれた学校づくり（学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている）】

中生	96.6	高2	82.4	中保	95.1
高1	86.0	高3	85.1	高保	83.3

（分析）8割以上の生徒・保護者から好評価を得ており、特に中学校では高い数値を示している。保護者会等での声としては、学校からの文書や手紙などが手元に届いていないケースもあるようなので、配布の仕方や内容に工夫が必要。また、自由記述には、黎メールの活用について、不必要な情報が多いと感じている声も

あった。

【施設整備（校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている）】

中生	86.5	高2	74.0	中保	79.5
高1	82.1	高3	87.5	高保	81.7

（分析）昨年度同様、概ね高い評価を維持しているが、自由記述において、部活動環境の充実化や駐車場に係る改善要望等も多く見られることから、出来るところからさらなる充実化・改善等に取り組んでいきたい。なお、新グラウンドの整備に向けて、今年度は旧校舎の解体等が行われたところである。

【いじめ対策（学校として、いじめ問題に対する取組んでいる）】

中生	76.6	高2	62.6	中保	57.3
高1	65.9	高3	64.3	高保	49.3

（分析）残念ながら、他の調査結果と比較しても、かなり低い数字となってしまった。本校において、重大ないじめ事案は発生していないが、SNS上の生徒間の軋轢やトラブルは、存在している。学校としても、日頃の会話や面談、アンケートの実施などを行っているが、実感として十分な印象を抱かせているのだろうか。

特に、保護者の評価が低いことを考慮すると、取組の実態を情報提供することが求められているのかもしれない。いじめは初期対応が大切だが、いじめを許さない環境作りが最も重要である。全職員で、生徒が安心して生活できる体制作りに取り組んでいきたい。

【総合満足度（学校生活は充実している）】

中学生	93.1	高2	72.2	中保	95.9
高1	76.9	高3	81.1	高保	90.1

（分析） 中学校生徒・中学校保護者・高校保護者についてはいずれも満足度は高いと言える。特に、中学生は昨年度に比べると、6ポイント上昇した。これは、体育祭や黎明祭等の行事に中学生が昨年以上に参加できるような工夫をしたためであると思われる。一方、高校生の満足度は、昨年に比べると、どの学年も数ポイント減少している。

学校生活の中で、負の要因が一つでもあると充実感を得られにくくなるので、高評価項目のさらなる深化及び課題項目の改善を一層進めていく必要がある。

○ 本校独自質問事項

【2WT（ツーウィークテストは基礎学力向上に役立っている）】

中3	73.7	高2	60.8
高1	71.5	高3	56.4

（分析） 昨年度と比較すると評価がやや低くなっている。また、例年の傾向であるが、中学も含め学年が上がるに従って評価が低くなる傾向がある。再テスト受験者が多数に及ぶなど問題点も多く、まずは、数学科、英語科内での議論を深める必要がある。

【土曜塾（土曜塾は学力向上に役立っている）】

高1	52.0	高3	51.7
高2	35.4	高保	69.9

（分析） 土曜塾については、昨年度よりグローアップタイムを設けるなどの展開の工夫をしてきたが、それでも役立つと考える生徒が、全体として5割弱にとどまる。特に高2の評価が昨年度（1年次）に引き続き低い。欠席率が高くなる時期や内容を精査し、多くの生徒にとって有用なものとなるよう努めていきたい。また高2については学年とも十分協議しつつ次年度の高3課外を進めていきたい。

【課外（長期休業中の課外や平日課外は進路達成に役立っている）】

高1	54.1	高3	73.6
高2	41.8		

（分析） 高3の評価が高いのは進路実現に向けてその有用性を感じているからだろう。一方で高1・高2については土曜塾と同様の傾向が見て取れる。課外の内容や展開法の課題もあるのは確かだろうが、生徒自身の意識の喚起も必要と言えそうだ。

【進路室関係（進路資料室、自習室は利用しやすい）】

高1	34.1	高3	68.6
高2	45.0		

（分析） 相変わらず高3の利用率が高いが、高1・高2や中学生の利用率も高くなりつつある。その分、高3はやや利用しにくさを感じ、高1・高2の利用しやすさは向上している。席も限られます、お互いに譲り合いながら上手に利用して欲しいです。

【進路情報（進路を考える上で必要な情報が十分に提供されている）】

高1	68.1	高3	81.7
高2	71.9	高保	67.2

（分析） ネット社会の進展により情報は容易にかつ大量に得られるようになってきています。その分、そうした情報の見極め方が一層大切になってきています。学校としては情報の提供というより、情報の見極め方や利用の仕方を中心に生徒たちを指導していきたいと考えています。

【科学講演会（科学講演会等は、科学への興味・関心を高める上で有意義な行事である）】

中学生	72.1	高2	46.3	中保	79.9
高1	58.1	高3	50.9	高保	69.8

（分析） 「講演の内容が専門的すぎてよくわからない」「文系の進路を希望しているので、講演内容に興味がない」というような要望を受け、5月に宮城学院大学学長の平川新先生から、「歴史と災害」をテーマに講演をいただき、9月には東京工業大学名誉教授の本川達雄先生から、生物学を基盤に、人生をどうとらえて

生きるべきかという講演をいただいた。このように内容を工夫したこともあってか、数値は昨年度よりおおむね改善された。今後も内容を吟味し、生徒の科学に対する興味関心を喚起していきたい。

【図書館（学校図書館の蔵書は充実している）】

中学生	84.3	高2	71.8
高1	76.0	高3	58.8

（分析）中学生・高校1年生で評価が高い結果となっている。図書委員研修会を昨年同様に行い、欲しい本を購入できる体制を強化した結果であると考えられる。高2でも71.8と高い水準となった。今後の課題としては、高3での必要な書籍を調査し充実させていきたい。

【図書館（学校図書館は、利用しやすいように整備されている）】

中学生	94.4	高2	84.1
高1	89.3	高3	76.6

（分析）全体的に高い評価を得ている。特集コーナーをもうけたり、蔵書検索にコンピュータを利用できる、また、河北新報と契約し新聞記事の検索ができる様にするなどの整備を行った結果であると思われる。今後も継続して利用の活発化につとめたい。

【心身の健康への配慮（学校は心身の健康に十分に配慮してくれている）】

中学生	89.9	高2	61.2	中保	86.9
高1	69.3	高3	70.3	高保	72.6

（分析）昨年度と比べ、高校はほぼ同様の評価であったが、中学では生徒保護者とも大きく評価が上昇した。快適な環境作りが受け入れられたためと思われる。今後も職員間の連携をさらに密にして健康への環境作りに取り組みたい。

【事務室の対応（事務室は学校窓口として親切に対応している）】

中学生	67.4	高2	63.4	中保	87.7
高1	64.3	高3	60.4	高保	79.7

（分析）「分からない」と回答している生徒及び保護者が多い傾向は例年と変わらないが、昨年度に比べ、全体的に評価は高くなっている。このことは、事務室とコンタクトのあった生徒や保護者からは概ね好評価を得ているものと捉えることができる。一方で、割合は低いものの「当てはまらない」等の評価もあることから、当該評価を得ることがないよう、今後なお一層丁寧な対応等に努めていきたい。

【交通安全指導（交通安全指導等の安全指導が十分に行われている）】

中保	77.2	高保	67.2
----	------	----	------

（分析）交通安全講話を毎年1回実施している。また、交通委員を中心に、月2回ほど朝の立ち番指導も行っている。道路交通法の改正に伴い、指導の充実を図ってきた。さらに、原付バイクの免許取得者やバイク通学の生徒には、実技講習も行っている。しかしながら、一部の生徒の、登下校時のスピード走行やマナーの悪さが、この数字となってしまったのだろう。重大な事故が発生する前に、日頃の注意喚起が必要だ。ご家庭でも声かけをお願いしたい。

【授業参観や面談（授業参観や面談等は参加しやすい日程で組まれている）】

中保	88.0	高保	84.9
----	------	----	------

（分析）（中）昨年とほぼ同じように、高い評価を受けていることから、回数や時期ともに、適切であったと思われる。今後、さらに内容を見直し、充実させていきたい。
（高）昨年度より高い評価を受けたのは、夏期休業前に午前授業・午後面談の期間を設けるという従来の方式に戻したことも原因の一つと考えられる。授業参観については、授業公開週間の他、各種研究授業、公開授業についてのお知らせも徹底したい。

【PTA活動（保護者と教職員の連携が密で、有意義なPTA活動が実施されている）】

中保	77.0	高保	60.6
----	------	----	------

（分析）PTA活動の参加行事等の種類が高校より中学が沢山あることから中学校の数値が高いと考えられる。PTA役員の積極的な活動は非常に活発で、進路対策の大学訪問・調査広報紙・登校時挨拶運動等の活動は活発に行われている。調査広報紙は3年連続の東北大会へ進出し県内では高い評価をいただいている。PTA総会への参加者の少なさが影響されていると考える。